

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築育英学園

(2) 大学名

日本経済大学

(3) 大学の位置

〒818-0197

福岡県太宰府市五条3丁目11番25号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学部長	(クロダ ユキヒサ) 黒田 幸久 (平成22年10月)	(スガサワ ヨシオ) 菅澤 喜男 (平成24年4月)	一身上の都合による交替 平成24年4月1日(24)
		(イシウチ コウジ) 石内 孔治 (平成26年4月)	菅澤前学部長が大学院研究 科長就任のため交替 平成26年4月1日(26)
学科長等	(タキ トヨキ) 瀧 豊樹 (平成24年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 健康スポーツ経営 学科 学士(健康ス ポーツ経営学)	4年	80人	— 年次 人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	80人 (-) [-]	(-) [-]	80人 (-) [-]	(-) [-]	80人 (-) [24人]	(-) []	0.60倍	
志願者数	() []	() []	41 (-) [-]	— (-) [-]	76 (-) [5]	() []	50 (1) [7]	() []		
受験者数	() []	() []	41 (-) [-]	— (-) [-]	76 (-) [5]	() []	50 (1) [7]	() []		
合格者数	() []	() []	41 (-) [-]	— (-) [-]	74 (-) [4]	() []	50 (1) [7]	() []		
B 入学者数	() []	() []	41 (-) [-]	— (-) [-]	65 (-) [4]	() []	38 (1) [5]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.51		0.81		0.48			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[-] 41	[]	[4] 65	[]	[5] 38	[]	
2年次	/		[]	[]	[-] 39	[]	[4] 60	[]	
3年次			[]	[]	[-] 33	[]	[]		
4年次			[]	[]					
計			[]	[-] 41	[4] 104	[9] 131			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	41人	8人	平成24年度	2人	0人	除籍(1人)、その他(1人)	0.195122 %
			平成25年度	6人	0人	就学意欲の低下(2人)、家庭の事情(1人)、除籍(1人)、その他(2人)	
			平成26年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	65人	6人	平成25年度	6人	0人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(2人)、就職(1人)、家庭の事情(1人)	0.092308 %
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	39人	0人	平成26年度	0人	0人		0 %
合計	145人	14人					0.096552 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

平成26年度、廃止科目はありません。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	心理学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「心理学」を代替開設
2	文学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「文学」を代替開設
3	文章表現論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「文章表現論」を代替開設
4	日本事情(人文)Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「日本事情(人文)」を代替開設
5	情報社会学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「情報社会学」を代替開設
6	社会学概論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「社会学概論」を代替開設
7	プロスポーツ論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「プロスポーツ論」を代替開設
8	日本事情(社会)Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「日本事情(社会)」を代替開設
9	生物学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「生物学」を代替開設
10	数学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「数学」を代替開設
11	統計学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「ビジネス統計」を代替開設
12	ソシオバイオロジーⅠ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「ソシオバイオロジー」を代替開設
13	環境論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「環境論」を代替開設
14	日本事情(自然)Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「日本事情(自然)」を代替開設
15	英語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅡA・B」を代替開設
16	英語(中級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅢA・B」を代替開設
17	英会話A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅣA・B」を代替開設
18	英語(上級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅤA・B」を代替開設
19	韓国語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「韓国語ⅠA・B」を代替開設
20	ドイツ語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「ドイツ語ⅠA・B」を代替開設
21	中国語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「中国語ⅠA・B」を代替開設

22	日本語（初級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅠA・B」を代替開設
23	日本語（中級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅡA・B」を代替開設
24	日本語（中上級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅢA・B」を代替開設
25	日本語（上級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅣA・B」を代替開設
26	韓国語（中級）A・B	2	2	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「韓国語ⅡA・B」を代替開設
27	ドイツ語（中級）A・B	2	2	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「ドイツ語ⅡA・B」を代替開設
28	中国語（中級）A・B	2	2	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「中国ⅡA・B」を代替開設
29	韓国語（上級）A・B	2	3	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「韓国語ⅢA・B」を代替開設
30	ドイツ語（上級）A・B	2	3	一般	選択	第2外国語にフランス語を追加し、受講生の少ない本科目を廃止。代替措置なし。
31	中国語（上級）A・B	2	3	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目群「中国語ⅢA・B」を代替開設
32	健康科学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「健康科学」を代替開設
33	スポーツⅠA・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生からⅠの区分を外し、通年科目「スポーツA・B」を代替開設
34	情報リテラシー基礎実習A・B	2	1	専門	選択	平成25年度入学生から情報リテラシー技術の修得を重視し、必修科目「情報リテラシー基礎A・B」を代替開設
35	女性のためのライフプランニング	2	4	専門	選択	平成25年度入学生から受講生の少ない本科目を廃止。代替措置なし。
36	情報リテラシー応用実習A・B	2	2	専門	選択	平成25年度入学生から情報リテラシー技術の修得を重視し、必修科目「情報リテラシー応用A・B」を代替開設

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
平成26年度、未開講又は廃止した科目はありません。

平成25年度入学生用カリキュラムの検討において、特に基礎科目の見直しを行ったが、学生の基礎学力の向上のため、基礎科目を幅広く、より多くの分野の科目を学修させることを狙いとし、半期で履修可能な科目については従来の通年科目から半期科目とした。また、語学科目の充実を図るため習熟度に応じ科目名を「Ⅰ、Ⅱ・・・」と変更するとともに第2外国語を追加する等、体系化を図った。このことにより、学生は従前に増して基礎学力を身に付けることになるものと確信する。専門科目については受講生の少なかった「女性のためのライフプランニング」を廃止し「インターンシップ（実習）」を追加したが、他の専門科目は全て設置時の計画どおりの開講であり、本学科の専門性は十分維持されるものと思料する。学生に対する周知については、オリエンテーション（履修説明）において24年度入学生との相違について説明した。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合
平成26年度、未開講又は廃止した科目はありません。

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{20.45\%}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	56,677.69㎡ 54,538.45㎡	0㎡	0㎡	56,677.69㎡ 54,538.45㎡			
	運 動 場 用 地	17,629.01㎡	7,229.03㎡ -7,229.63㎡	0㎡ -13,093.61㎡	24,858.04㎡ -37,952.25㎡			
	小 計	74,306.70㎡ -72,167.46㎡	7,229.03㎡ -7,229.63㎡	0㎡ -13,093.61㎡	81,535.73㎡ -92,490.70㎡			
	そ の 他	49,064.62㎡ -49,362.72㎡	0㎡	0㎡	49,064.62㎡ -49,362.72㎡			
	合 計	123,371.32㎡ -121,530.18㎡	7,229.03㎡ -7,229.63㎡	0㎡ -13,093.61㎡	130,600.35㎡ 141,853.42㎡			
(2) 校 舎	専 用	42,405.28㎡ -35,796.19㎡	386.00㎡	0㎡ -9,132.99㎡	42,791.68㎡ -45,309.68㎡			
		(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	77室	演 習 室 24室	実 験 実 習 室 6室	情 報 処 理 学 習 施 設 5室 (補助職員 5人)	語 学 学 習 施 設 3室 (補助職員 5人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成26年4月 専任講師1名を新規 採用のため(26)		
	経済学部 健康スポーツ経営学科			11 10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	昨年度は、大学全体 (3キャンパス分)を 記載してしまいま した。申し訳ありませ ん。今年度から健康 スポーツ経営学科が 所在する福岡キャン パスのみの状況を報 告します。(25)
	健康スポーツ 経営学科	110,694 [28,668] 164,706 [43,048] (105,826 [26,095]) (102,839 [25,668]) (161,106 [42,448])	220 [80] 230 [55] (208 [67]) (230 [55])	2,714 [2,714] 5,404 [5,404] (2,714 [2,714]) (5,404 [5,404])	957 1,484 (957) (1,366)	0 37,837 0 (37,837)	0 ()	
	計	110,694 [28,668] 164,706 [43,048] (105,826 [26,095]) (102,839 [25,668]) (161,106 [42,448])	220 [80] 230 [55] (208 [67]) (230 [55])	2,714 [2,714] 5,404 [5,404] 2,714 [2,714] (5,404 [5,404])	957 1,484 (957) (1,366)	0 37,837 0 (37,837)	0 ()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		福岡キャンパスのみ の図書館の状況で す。(25)		
	1,436.8㎡ 2,579㎡	208 684		114,000 140,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,392.02㎡	テニスコート1面		柔道場1、 武道場1				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
	教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	5,300千円	5,300千円	5,300千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 940千円	第2年次 740千円	第3年次 740千円	第4年次 740千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		日本経済大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	平成26年度から学生募集停止
経済学部	年	人	年次	人		倍			
経済学科	4	600	一人	2350	学士(経済学)	1.00	昭和43年度	福岡県太宰府市 五条3-11-25	
経営学科	4	150	—	600	学士(経済学)	0.69	昭和43年度		
商学科	4	—	—	—	学士(経済学)	0.79	昭和50年度		
経営法学科	4	300	—	1150	学士(経済学)	0.89	平成17年度		
健康スポーツ経営学科	4	70	—	360	学士(経済学)	0.74	平成19年度		
	4	80	—	240	学士(健康スポーツ経営学)	0.60	平成24年度		
経営学部									
経営学科	4	1000	—	1000	学士(経営学)	0.73	平成26年度		
大学の名称		福岡こども短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
こども教育学科	年	人	年次	人		倍			
	2	350	一人	700	短期大学(こども教育)	0.67	昭和50年度	福岡県太宰府市 五条3-11-25	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

平成26年度、専任教員の辞任はありません。なお、キース・キンスラー講師は専任に復帰しました。

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	篠原 淳	平成25年4月、健康スポーツ経営学科の専任として就任予定であったが、平成24年度から経営学科長に就任していたため、本学科への就任辞退（25）
2	講師	キース・キンスラー	平成25年4月、健康スポーツ経営学科の専任として就任予定であったが、光井信介教授が転属により専任として就任したため、本学科の今年度充足予定数を充たしたことから就任辞退（25）
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

篠原教授は、兼担として本学科の「経営学A・B」を担当するとともに、担当を予定していた「基礎ゼミA・B」及び来年度以降の「専門ゼミⅠA・B」「専門ゼミⅡA・B」についても、代替教員の手当が出来ることから履修への影響は最小限に抑えられると思料する。また、キンスラー講師についても兼担として、本学科の「英会話」を担当していることから履修への影響はないものとする。学生に対する周知については、オリエンテーション（履修説明）において本学科の学生に対し説明した。（25）

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	経済学部健康スポーツ経営学科、福岡こども短期大学こども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保につとめるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	平成25年度、経済学部健康スポーツ経営学科の定員充足率は0.81と向上した。福岡こども短期大学こども教育学科の定員充足率は0.63であった。 (25)	来年度に向け、両学科ともインターネット等を活用した、より効率的な募集広報を実施し、今年度を上回る学生の確保に努め定員充足率の向上を図る所存である。(25)
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	経済学部健康スポーツ経営学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保につとめるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	平成25年度の定員充足率は0.81（平均入学定員超過率0.66）であったが、平成26年度の定員充足率は0.48と低下した。また3年間の平均入学定員超過率も0.60と低下した。 (26)	平成27年度に向け、TVコマーシャル及びインターネット等を活用し認知度の向上を図るとともに、体育系学科のある高校への広報を強化し、スポーツ関係での高大連携を進めることにより定員充足率の向上を図る所存である。 (26)
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経済学部 健康スポーツ経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

平成26年度、設置計画の変更事項はありません。

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p><修了要件単位数> 基礎科目（人文科学系4単位以上、社会科学系4単位以上、自然科学系4単位以上、語学系4単位以上）計30単位以上、専門科目（必修科目8単位、必修科目以外の共通科目・経営学関連科目32単位以上、健康スポーツ関連科目32単位以上）計94単位以上を履修し、合計124単位以上を修得すること。</p>	<p><平成25年度以降入学生用修了要件単位数> 基礎科目（人文科学系4単位以上、社会科学系4単位以上、自然科学系4単位以上、語学系 選択必修科目8単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目28単位、必修科目以外の共通科目・経営学関連科目12単位以上、健康スポーツ関連科目32単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。（25）</p> <p>*学生の専門性をより高めるため、必修科目（10科目・20単位）を追加した。（「授業科目新旧対照表」参照）（25）</p> <p>*基礎学力の向上を図るため、特に語学系科目の充実（選択必修化8単位以上）するとともに、基礎科目の修了要件に占める割合を高くした。（25）</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
 - FD委員会
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 年数回（適宜） 教員7名 毎回8割以上参加
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ FD推進のための企画及び実施に関すること。
 - ・ FDに関する報告書等の作成に関すること。
 - ・ FDに関する調査・研究に関すること。
 - ・ 教育内容及び教育環境の改善に関すること。
 - ・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。
 - ・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。
 - ・ 教育職員の資質開発を計るための組織的な研修に関すること。
 - ・ その他FDの推進及び委員会に関すること。
- ② 実施状況
- a 実施内容
 - ・ 授業方法についての研究
 - ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施
 - ・ 教員による授業参観の企画・実施
 - ・ 学生指導要領の検討、特に履修指導、成績指導・出席指導、就職指導のあり方
 - ・ 授業及び定期試験における不正行為防止措置の検討
 - ・ 新任教員のための研修会の企画・実施
 - b 実施方法
 - ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価（結果が低い教員に対する授業参観の実施）
 - ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底
 - ・ 全教員のための研修会の企画・実施
 - ・ FD委員会において、教員の資質向上に関する事項の検討
 - ・ FD委員会における懸案事項の教授会への上申
 - ・ 内容により、全教員対象の研修会の実施、または全教員へのメール送信による徹底
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 履修・成績指導要領について H26.3.24 教員研修 56名参加
 - ・ 学生指導要領のあり方 H25.5.31 教員研修 47名参加
 - ・ 授業評価アンケート H25春・秋学期 各1回実施、全教員対象
 - ・ 教員による授業参観 H25年度は実施せず。
(H25春学期実施した学生による授業評価アンケートの評価結果が低い教員が居なかったため。)
 - ・ 新任教員のための研修会 H26.3.25及び3.29実施、新任の専任教員8名、兼任教員3名参加
 - ・ 教員研修「講演会」 H25.7.11（筑水キャコム社長 包行 均 氏） 68名参加 620教室
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケート結果を各教員に配布し、改善策を記入させた後、回収
 - ・ 学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上
 - ・ 出欠管理要領の認識の統一（不正行為をなくすには）
 - ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - 実施している。年2回、各学期末（14～15週授業時）
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - アンケート結果（改善策）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上で教員個別の評価得点を情報公開

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>経済学を基礎として、経営学と保健体育学の学際的な知識、技術を学習し、スポーツ経営分野における独自性、専門性を追求するため、経営学関連科目と健康スポーツ関連科目をカリキュラム上バランス良く配置し、スポーツ経営分野における個性的なリーダーを育成するという本学科の目的が、逐次、理解されつつあると確信する。</p> <p>しかしながら、入学者数は昨年度65名に比し、今年度39名と大幅に減少した。これは本学が募集対象として体育部活動実施者に重点指向しなかったことが原因の一つと反省している。</p> <p>今後は、TVコマーシャル及びインターネット等を活用し認知度の向上を図るとともに、体育系学科のある高校への広報を強化し、スポーツ関係での高大連携を進めることにより定員充足率の向上を図り、設置の趣旨・目的が十分達成できるよう努力していく。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成26年6月末日 公表予定（平成25年度分） <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開予定
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成25年度に評価機関（大学基準協会）の再評価を受審したが「不適合」であった。・平成28年度に次回の認証評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 26 年 6 月 予定)</p>
